



鉄道高架化通信



第56号

令和7年8月発行

発行：豊田市建設部街路課

～軌道工事、駅の建築工事、電気通信等工事がはじまります～

軌道工事、駅の建築工事、電気通信等工事について

鉄道高架切替えに向け、軌道工事、駅の建築工事、電気通信等工事がいよいよはじまります。工事における安全確保などの必要性から、交通規制や夜間施工を実施します。また、本線土木工事についても並行して行っていますので、引き続きご理解ご協力をお願いします。

①軌道工事

工事内容：鉄道高架の軌道部分に枕木を並べ、レールを敷く工事
業者名：矢作建設工業(株)

②駅の建築工事

工事内容：ホームの上屋や駅部の内装・外装などの工事
業者名：大成建設(株)

③電気通信等工事

工事内容：鉄道に関する信号、電路、電気通信等の工事
業者名：名鉄E I エンジニア(株)



①軌道工事に伴う夜間施工について

軌道工事では、7、8月で以下のとおり夜間施工を行います。近隣の皆様、ご理解ご協力をお願いします。

夜間施工 位置図



起点部（伊勢湾岸自動車道交差点付近）

期間：令和7年8月上旬～8月下旬 このうち15日程度
時間：午後11時から翌午前6時まで
内容：最終列車通過後、現軌道を使ってレールを運搬し、工事ヤード内へ運び入れます

駅部（若林駅から若林1号踏切付近まで）

期間：令和7年7月下旬～8月下旬 このうち15日程度
時間：午後11時から翌午前6時まで
内容：最終列車通過後、現軌道を使ってレールを運搬し、鉄道高架上に載せます

②駅の建築工事の資材運搬ルートについて

駅の建築工事では、鉄骨など大型資材の使用が多いことから、大きな車両での搬入も多くなります。このため、周辺の道路幅員や交差点形状等を踏まえ、大きな車両は駅から向かって北側東方向からの搬入・退出となります。皆様のご理解ご協力をお願いします。



ちょっと途中下車

～若林駅と竹村駅の電車停車方向の違い、皆さん気づいていましたか？～

日本の鉄道は、自動車と同じように、左側通行が一般的です。しかし、三河線には右側通行となっている駅があり、「若林駅」と「竹村駅」はその一例です。

この2つの駅は、どちらも真ん中にホームがあって両側に線路がある「島式ホーム」をもつ1面2線の構造です。駅構造だけで見ると、「上挙母駅」なども同じ「島式ホーム」です。では、なぜ右側通行となっているのでしょうか？名鉄の方に確認すると以下の回答がありました。

【回答】駅構内に設置されている踏切を渡る乗客に配慮し、電車が構内踏切手前で停車して発車時には必ず低速となるよう、ホーム右側で乗客を乗せ降ろしする右側通行としている。

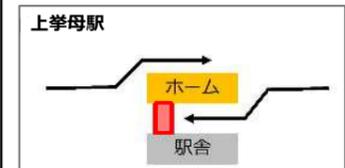
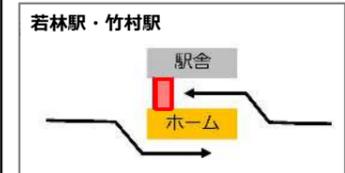
ちなみに、「上挙母駅」は、「若林駅」や「竹村駅」とは逆の方向に構内踏切があるため、一般的な左側通行となっているようです。（右記「ホームの違い」参照）

若林駅は、高架本体への切替を行うと、一般的な左側通行となります。若林駅だけではなく、色々な駅のホームの構造や通行の違いに注目してみると、新しい発見があるかもしれませんね。



右側に停車している電車

【ホームの違い】



凡例
→ 鉄道進行方向
■ 構内踏切

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替
令和5年3月

⑥ 高架本体工事開始
令和5年5月

⑦ 高架本体への切替
令和8年3月予定

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp